

ナショナル自動給湯機<オートホットOW-31G>設置工事説明書

■設置

- (1)設置 床……耐火材(コンクリート基礎)に設置してください。
- (2)給湯機室……耐火構造(コンクリートブロック)の専用給湯機室に設置してください。
※木造給湯機室の場合、各地の火災予防条例でオートホットと可燃物との保有距離が規制されています。

※東京都の場合

	上 方	側 方	前 方
必要保有距離	1.2m以上	0.45m以上	1.5m以上

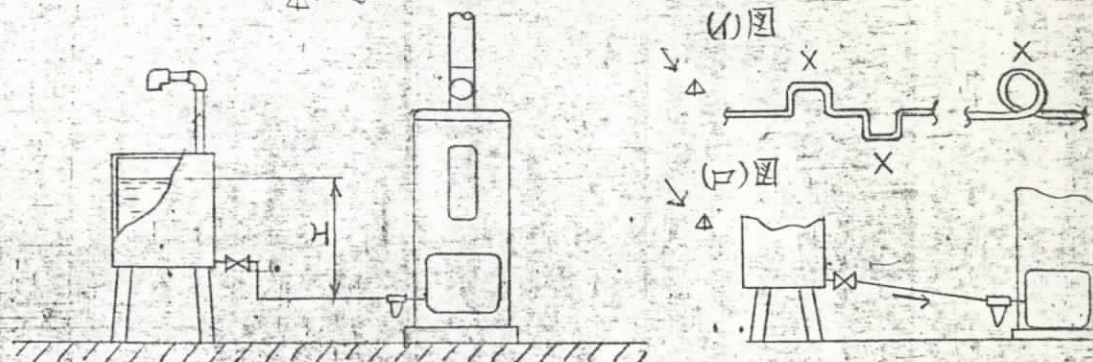
- (3)燃焼空気取入口……新鮮な燃焼空気を取り入れられる開口部がなければ、燃焼に影響するばかりでなく酸素不足になる場合があります。
開口部の形状により、それぞれの必要面積の開口を設けてください。給気口(下部)と、換気口(上部)の2カ所が必要です。

有効開口面積	鋼製ボイラの場合	パンチングメタルの場合
600cm ² × 2ヶ所	1,200cm ² × 2ヶ所	2,400cm ² × 2ヶ所

- (4)保守スペースの確保……保守サービスに必要なスペースを確保してください。
- (5)水平設置の確認……水平に設置されているかどうか水準器でご確認ください。(傾き限度1°)

■油配管工事

- (1)配管材料……なまし銅管8mmφをご使用ください。
- (2)配管長さ……30m以下にしてください。
- (3)油タンク高さ……Hは0~1.1mの範囲を必ず守ってください。



- ※ 1. 必ず付属の燃料フィルタを上図のように取付けてください。
2. 配管の途中に空気が入らないようにしてください。(右上図(1)図)
3. 配管接続部の油漏れを必ず検査してください。
4. 油タンクからオートホットへ勾配を設けてください。(右上図(2)図)

(3)油タンク

- ①100ℓ以上の油タンクには設置場所が必要な地方がありますので、火災予防条例をご確認ください。
- ②油タンクは床、およびオートホットとの保有距離などの火災予防上の配慮をしてください。
- ③直接雨水がつかないようにしてください。

各地の火災予防条例に従って安全第一に！ アース工事をお忘れなく！！

ナショナル自動給湯機<オートホットOW-31GS>設置工事説明書

■配管工事

給湯配管・暖房配管の一例を示します。

- (1)必ず、シスターンを通して給水してください。
- (2)オートホットの配管接続口にはユニオンを設けてください。
- (3)配管は空気を残さないように勾配を確かめて配管してください。

(逃し管)

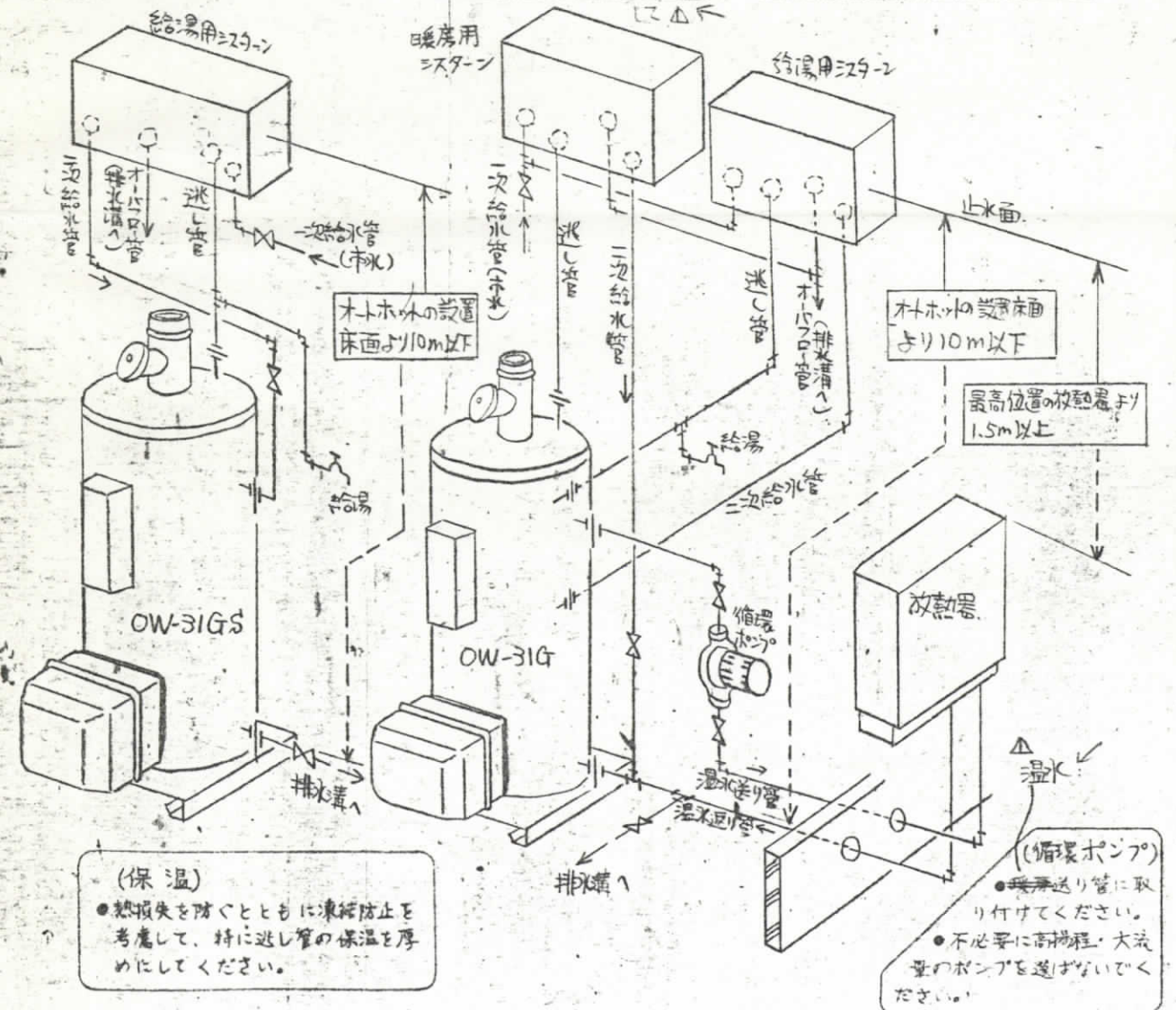
- 25Aで配管し、途中で絞ったり、バルブを取り付けたらしないでください。
- できるだけ壁面に立ち上げ、やむをえず傾斜させる場合は先上り勾配(1/10以上)にしてください。

(配管接続口)

- 図は標準の接続方法を示しています。
- 他の使用方法もありますが、性能が変わることがありますのでテクニカルガイドを参照ください。

(配管材料)

- 給湯配管・暖房配管ともにB種上、耐久性の点で銅配管にしてください。
- 暖房用シスターンには配管終了時に防錆剤(チヒロVC-3)を投入してください。
- 給湯には投入しないでください。



(保温)

- 熱損失を防ぐとともに凍結防止を考慮して、特に逃し管の保温を厚めにしてください。

(循環ポンプ)

- 暖房配管に取り付けてください。
- 不必要に高揚程・大流量のポンプを選ばないでください。

各地の火災予防条例に従って安全第一に！ アース工事をお忘れなく！！

ナショナル自動給湯機<オートホット OW-31G>設置工事説明書

■煙突工事

煙突工事は、正常燃焼と安全性の両方から極めて大切な工事です。正しく施工し、各地の火災予防条例を厳守してください。一例として東京都の火災予防条例より、ご注意ください。ただし、各自治体のポイントと下部に示します。

①煙突必要高さ： $H(m) \geq 1.5 + 0.2L - 0.5N$ 必要ドラフト値： $-0.8 \sim -1.4 \text{ mmHg}$

L：煙突長さ(m) N：曲がり数(4以下)

※Hが4～5m以上あることが望ましい。

②煙 引 き：できるだけ長く、1/10以上の高さを確保してください。

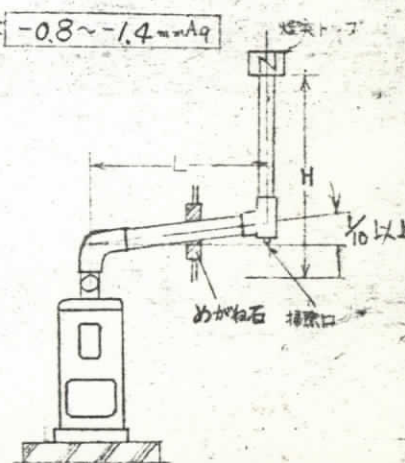
③曲 り 数：4カ所以内にしてください。
曲りが多く、直ぐに立ち上るものは、雨水が直接オートホットに入る恐れがありますので、しないでください。

④パイプ：オートホットに直接取付け、3本のクランプでしっかりと固定してください。

⑤煙 突 径：120φで7の途中まで通す。排気抵抗が大きくなるような接続はしないでください。

⑥排 気 口：図のようにより部に排気口を必ず設けてください。

⑦煙突トップ：雪などによって排気口が閉じられる場合がありますので、丸形トップが望ましいです。風圧等に耐えますと逆風をうけますので、建物の屋根より高い位置まで上げてください。電線や隣家に接近しすぎない所に立ててください。



煙突工事のポイント(東京都火災予防条例より)

- a: 60cm以上。
- b: 1m以上、または1m以下のときは60cm以上。
- c: この部分で接続しないこと。
- d: 支線・支わく・股・金具などで固定する。
- e: 煙道の取付け口から1.8m以内の場合は45cm以上、1.8mを超える場合は15cm以上とすること。
- めがね石：可燃性の壁・床・天井などを貫通する部分にはめがね石をはめこむこと。
- 煙突と可燃物の距離：①寸法(オートホットよりの煙突径)が1.8m以内で45cm以上離すこと。②寸法が1.8m以上で15cm以上離すこと。
- 煙突トップ：逆風・火物の飛散を防ぐこと。

各地の火災予防条例に従って安全第一に！ アース工事をお忘れなく！！

ナショナル自動給湯機<オートホット OW-31G>設置工事説明書

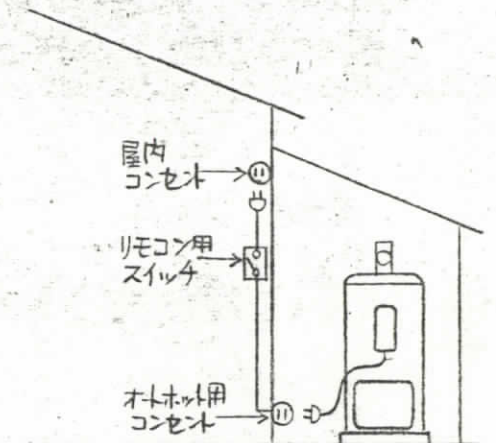
■電気工事

(1)アース工事

第三種接地工事(接地抵抗値100Ω以下)が必要です。アース棒により確実に接地抵抗値を確保してください。砂地などで接地抵抗の確保できない場合は2本以上の接地棒を打ち込むなどの配慮が必要です。

(2)遠隔操作(リモコン)結線について

- ①屋内コンセントとオートホット用コンセントの間にリモコン用スイッチをつけてください。
- ②本体の運転スイッチは「入」にしておいてください。



電気工事は電気工事士の有資格者によって法令<電気設備に関する技術基準>に適合する工事を行なってください。

■試運転

(1)工事の再確認

試運転の前に念のため工事各項目ごとに再点検してください。

(2)設備の確認

①電源周波数(Hz)に適合した空気調節板の設置と電磁ポンプの配線が正しいか確認してください。

②配管の各部から油もれ、水もれがないか再度確認してください。

③運転スイッチを「入」し、正常に運転することを確認してください。

(注)電磁ポンプの4端子の接続は電源周波数(Hz)によって異なります
50Hz…茶、60Hz…灰

(3)試運転立合いに際して……

①同梱してある「取扱説明書」をお渡しの上、使用方法・日常のお手入れについて詳しく説明してください。

②特にご留意事項にご注意願う事項は下記の通りです。

1. 電源供給
2. 燃料の供給(燃料を切らないこと)
3. 燃料の水抜き
4. 火災予防(本体のそばに危険物・可燃物を置かないことなど)
5. 凍結の防止

※万一、不具合が生じた場合は「取扱説明書」の記載事項をもう一度確認いただき、機種・製造番号などをお調べのうえ、できるだけ具体的な状況を説明いただくようお願いしております。サービスの効率化と故障修理に役立ちます。

※「定期整備契約」をぜひおすすめください。

各地の火災予防条例に従って安全第一に！ アース工事をお忘れなく！！